

会 議 録

会議名	平成 29 年度第 3 回八王子市博物館協議会
開催日時	平成 29 年 12 月 19 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 30 分
開催場所	郷土資料館 2階集会室
出席者	委員 小野一之、小此木正貴、柿崎博孝、数馬広二、國方則和、黒澤美代子、佐々木幹夫、佐藤栄子 (50 音順)
	事務局 叶清こども科学館長、中野みどり郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども科学館専門幹兼主査、小山豊こども科学館担当主査、尾崎光二郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査、河津美穂子郷土資料館担当主任、佐藤友紀郷土資料館担当主事
欠席者	磯部剛久、鎌倉佐保
議 題	協議事項 1. 平成29年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業(4～11月期)実施状況について 2. その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
配付資料名	会議次第 平成29年度こども科学館事業(4～11月期)実施状況 平成29年度郷土資料館事業 (4～11月期) 実施状況 市制 100 周年記念事業「宇宙飛行士講演会」の実施結果について 平成 29 年度 八王子「宇宙の学校」の実施結果について

会議の内容	<p>—議題 (1) 平成29年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業 (4～11月期)実施状況について、叶こども科学館館長、森こども科学館専門幹兼主査、小山こども科学館担当主査、佐藤郷土資料館担当主事よりそれぞれ説明。—</p> <p>—質疑応答—</p> <p>黒澤委員 「宇宙飛行士講演会」につきましては私も参加させていただきましたが、素晴らしい内容でした。参加した子どもたちも生き生きとしていました。今後もこのようなイベントを積極的に取り入れたほうがよいと感じました。</p> <p>小野委員 両館とも事業が好評で何よりだと思います。特に資料館の特別展では市ゆかりの人物を取り上げたのは良かったと思います。また市制施行の歴史をテーマにしたことは行政側にも参考になる内容であったと考えられますが、今回の特別展を理事者や議員など行政の関係者はご覧になったのでしょうか。</p> <p>尾崎主査 来館者の皆様からの評判についてはご説明したとおりですが、今回の特別展には市長、副市長そして教育長にご覧いただきました。また議員の方々も数名ご覧いただきました。市長、副市長、教育長は特別展に限らず、定期的に公務の合間を縫って資料館の展示を見学していただいております。さらには今回の特別展図録は市の歴史がわかりやすく書かれていることから部課長からも評判が良かったです。</p> <p>國方委員 日頃よりこども科学館の館長や主査は宇宙関連のイベントにも熱心に参加していただいております、こうした積み重ね・姿勢が今回の講演の成功につながっているのだと思います。郷土資料館の特別展についてですが、都市緑化フェアはもちろんですが、特に JR 東日本と連携したイベントを実施できた点が良かったと思います。以前から館の PR 手法として話していたことであったのでそれが実現したことは喜ばしいことです。引き続きこういった連携ができると良いと思います。</p> <p>尾崎主査 都市緑化フェアにつきましては関係所管からもチラシ配布について協力の提案を受け、通常よりも広い範囲で館の PR を行うことができました。</p> <p>佐々木委員 今年度は市制 100 周年の年ということで両館をはじめ、市全体で様々なイベントが行われました。その中で公立の小中</p>
-------	--

会議の内容	<p>学校の児童・生徒もいろいろな形でイベントに参加でき、学校には桜の木が植樹されるなど、子どもたちに八王子の 100 周年を印象づけられた良い年だったと感じました。一方で今年度がこれだけ素晴らしい年であるが故に「100 周年」という看板が外れる来年度以降についてはよく検討する必要があると思います。</p> <p>叶館長 今年度のこども科学館は「体験学習フェスティバル」など様々な 100 周年のイベントに参加し、その中で今までに接点のなかった団体とのつながりを生み出すことができました。この接点をここで終わらせることなく、互いの強みと弱みを補完し合えるようなイベントを継続していければと考えております。</p> <p>佐々木委員 「ここに行けば〇〇ができる。」「ここに行けば〇〇がある。」といったものを生み出すことができれば入館者の定着につながると思いますので今後も検討してください。</p> <p>小此木委員 両館とも入館者が増えていることは喜ばしいことだと思います。一方でその増加要因が、こども科学館はリニューアル効果、資料館は 100 周年記念の特別展効果であるのでそれぞれ今後の事業展開によっては入館者が減少する場合があります。対策として今後、いかにしてリピーターを増やしていくかが課題となると思いますので両館の今後の対策等を伺いたいと思います。</p> <p>叶館長 対策としては関係団体とのつながりを活かした新たな企画を展開していければと考えております。また、大学生や団体見学など、新たな客層開拓のためにニーズや天文現象に即したイベントの開催など、常に新しい発見がある場所を目指したいと思います。</p> <p>中野館長 資料館でも社会科の先生を対象とした勉強会の開催や、大学への講師派遣など、今年度から新たに実施した事業があり、そうした取り組みから新しい客層へのアプローチを積み重ね、リピーターの確保につなげていければと考えております。</p> <p>柿崎会長 急なリピーターの増加は難しいと思いますが、そうした意識を常に持ち、地道な取り組みを積み重ねてください。</p> <p>佐藤委員 歴史相談などの取り組みはぜひ続けてほしいです。また市民への歴史教育に対しても従来のような事件や出来事の羅列ではなく、そこに関わった当時の人々の想いや考えについて</p>
-------	--

会議の内容	<p>尾崎主査 焦点を当て、歴史を読み解いていくことが重要だと思います。今回の特別展では普段は取り上げることのない「人物」をテーマに取り上げましたが、その影響か、資料館に来たのが初めてという方がいつもより多く見受けられました。初めて来た人の感想はこれほど多くの資料があるとは思わなかったなどの意見が多く、普段の展示に加えて「人物」を取り上げることが新たな客層の創出、ひいてはリピーターの増加につながると思いますので、今後の参考にしていきたいと思います。</p>
	<p>数馬委員 今回の「宇宙飛行士講演会」について、講演会に参加できなかった方や大学生のために記録映像として閲覧に供することができれば良いと思いました。今後そのような展開は検討されているのでしょうか。</p>
	<p>叶館長 映像をそのままの形で流すことは認められていない点などから、今回の講演会では映像の代わりに講演録を作成しております。公開については現時点では決まっておきませんが、今後、JAXA と調整を進めていきたいと考えております。</p>
	<p>数馬委員 ぜひご検討の程、お願いします。郷土資料館につきまして関連講座「映像でみる昭和の八王子」について、参加者から映像の一般公開を望む声が上がっているとのことですのでぜひご検討ください。また今回の特別展にはヴリーツェンの市長一行が見学に来られたということですが、他に今回の特別展で外国人の入館者はどの程度あったのでしょうか。さらに外国人対応についてですが現在どの程度対応できているのでしょうか。もし対応が難しい状況であるならば、大学連携の一つとして、外国語学科の学生の派遣などを検討するのも良いと思えます。外国人対応ができれば日本に来た留学生の見学場所としての利用も期待できると思えます。</p>
	<p>尾崎主査 映像につきましては、資料館では設備面の問題から公開できなかったのですが、今回学習支援課と連携することでホール施設での上映が実現できました。そして参加者の満足度も高かったため今後も企画できればと考えております。外国人の入館者につきましては調査していないため実数は不明ですが、あまり多く見受けられないのが現状であります。そのため通訳ボランティアについては現在検討しておりませんが対応できる体制を作ればそれをアピールできるようにもなりま</p>

会議の内容	<p>すので今後の課題として考えていければと思います。</p>
	<p>数馬委員 東京オリンピックに向けた大学協定や自治体連携が今後さらに活発となっていくと思いますので、そうしたところから大学連携を模索していただければと思います。</p>
	<p>叶館長 国も現在2020年に向けた様々な取り組みを打ち出しておりますのでそうした情報を収集し、活用していきたいと思ひます。</p>
	<p>尾崎主査 八王子もかつての東京オリンピックでは自転車競技会場として参加した歴史がありますので2020年に向けて関連特別展の実施は既に検討中です。また来年度は明治維新150年という節目の年でありますのでそれに関連する企画展の実施を予定しております。</p>
	<p>柿崎会長 何かの記念の年というのは今後も多く出てきますので、それを見据えた展示・企画の中長期計画が重要です。</p>
	<p>黒澤委員 2020年に向けて八王子市に外国人を呼び込むとするならばガイドやボランティアの英語対応が必須であると思ひます。英語対応ができるように養成していくことが今後重要です。そのためには大学の協力なども視野に入れた準備が必要となると思ひます。</p>
	<p>数馬委員 入館者の大人と子どもの分け方は両館ともどういった基準で分けていますか。</p>
	<p>森主査 中学生までが子ども料金と規定しております。</p>
	<p>尾崎主査 資料館も中学生までを子どもとしてカウントしております。</p>
	<p>小此木委員 昨年隕石について両館がコラボレーションいたしましたが、今後も博物館同士、共通する事項でのコラボレーションを検討することは重要だと思ひます。</p>
	<p>尾崎主査 現在、寄居町や小田原市へ八王子城の出土品を貸し出し、先方で特別展を実施するといった協力を行っておりますので今後そういった関連のある博物館同士で特別展を同時開催するなど連携できればと思ひます。また今後八王子の災害についての特別展も検討しており、気象など自然科学の面で再びこども科学館とコラボレーションすることができればと思ひます。</p>
	<p>中野館長 寄居町と小田原市とは後北条氏のつながりから、姉妹都市</p>

会議の内容	<p>としてそれぞれの自治体のデザインマンホールを交換するといった取り組みも行っております。現在そのマンホールを八王子城跡に設置し、それぞれの自治体との連携について来館者にアピールしております。</p> <p>—議題 (2) その他について中村主査より「多摩郷土誌フェア」の開催情報について紹介。次回開催日程の確認—</p> <p>柿崎会長 このことについて質問等無いようですので、こちらで平成29年度第3回博物館協議会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p>
-------	--